

章 校内研修の推進のために

児童生徒「一人ひとりの夢の実現」に向けて、教職員への“揺るぎない信頼”を確立する

教職員に必要とされる資質能力とは何か

教育には、次代を担う子どもたちを育成するという重要な役割があり、教職員はその職務に誇りと責任、情熱をもって取り組むとともに、教科等に関する高い専門性や自己研鑽に努める意欲等が求められる。本県では、「山口県が求める教師像」を次のように定めている。

山口県はこんな先生を求めています

- 未来を担う子どもたちにあなたの熱い情熱を！ -
- 豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人
- 強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
- 児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
- 幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
- 豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人
- 常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

また、必要とされる資質能力を次の4つにまとめている。

基礎的素養

- ・教職員としての使命感や教育的愛情
- ・豊かな社会性やコミュニケーション能力 等

学習指導力

- ・高い専門性に基づく学習指導力
- ・魅力ある授業の創造力、実践力 等

生徒指導力

- ・豊かな人間性や社会性の育成力
- ・キャリア形成の指導力 等

企画・運営力

- ・時代に応じた企画・運営力
- ・教育課程の開発・運営力 等

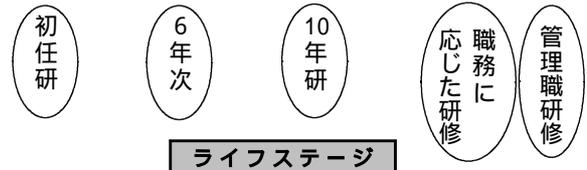
ライフステージに応じた研修を推進する

教職員は、その経験年数に応じて、学校で担う職務や期待される役割が異なることから、教職員

一人ひとりがライフステージに応じて、計画的、体系的に研修に取り組むことが必要である。

研修区分

基本研修（共通に求められる資質能力の向上）



希望研修（得意分野や専門性の向上）

派遣研修（大学、研究機関等で高い専門性養成）

校内研修（学校の教育目標や教育課題に対応）

自己研修（各自のニーズに応じた自主的な取組）

校内における研修体制の整備に取り組む

各学校では、教育活動その他の学校運営の改善のため、学校評価に取り組むとともに、教職員一人ひとりについて目標管理を踏まえた教職員評価を行っている。教育の質の向上を図るためには、こうした評価システムによる取組とともに、教職員の資質能力の向上を図る取組が不可欠であり、各学校における授業研究や具体的な教育課題に即した校内研修の充実が重要となる。

各学校における校内研修推進の課題

校内における研修体制づくり

各学校の教育課題に沿った研修内容の設定

授業研究・授業公開等の推進

地域の他の学校との連携による研修の充実

地域の人材の活用や保護者との連携による研修の充実

さらに、校務分掌の割り当てや職場でのコミュニケーションなど、業務上の様々な機会や場面が、結果的に教職員の資質向上に大きな影響を与えていることから、学校での様々な活動を、人材育成の観点から捉え直し、OJTによる資質向上に努めることが必要である。

山口県が求める教師像

自ら育っていく教職員

校長のリーダーシップによる人材育成

ライフステージに応じた研修

校内研修

教職員の資質能力向上の柱

学校教育目標の実現につながる資質向上

学習指導

生徒指導等

校務分掌他

日常の業務遂行を通じての研修（OJT）
学校の教育課題に沿った研修会
校外研修の報告会

研修体制充実（推進組織充実・研修リーダー育成）

関心・意欲

自己研修

課題認識
目標設定

一人ひとりの
研修ビジョン

専門性の向上
得意分野づくり
課題の克服

自主研修グループ

教職経験
ニーズや力量

校外研修

基本研修

初任者 経験者
管理職 特別支援教育

希望研修

経験者 管理職
特別支援教育 教育相談
情報教育 課題別
社会教育

派遣研修
大学・民間企業等

教育研究団体等

研修成果の還元

他校 大学 企業 地域等

研修成果の還元

企画・実施

支援

目標設定・課題認識（PDCA）

支援

県教育委員会 【本庁各課】 研修会実施、指導助言、指導者派遣、環境整備 【教育研修所】 基本研修、希望研修、支援研修、研修情報の提供等

市町教育委員会